

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2021/12/31	2022/3/31	2022/4/1	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	28,791.71	27,821.43	27,665.98	30,795.78	2021/9/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	36,338.30	34,678.35	34,818.27	36,952.65	2022/1/5	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	115.08	121.70	122.52	125.09	2022/3/28	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 先々週末までの大幅上昇に対する利益確定売りの動きや、中国の景気減速に対する警戒感から下落 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲483.86円(▲1.72%)、TOPIXが▲37.20ポイント(▲1.88%)となり、先々週末までの大幅上昇に対する利益確定売りの動きや、中国の景気減速に対する警戒感から下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、空運業、ゴム製品、その他金融業などの3業種が上昇した一方、海運業、石油・石炭製品、鉄鋼などの30業種が下落しました。

週初28日は、先々週末までの9連騰に対する利益確定売りの動きや、中国の上海市が一部地域でのロックダウン(都市封鎖)を発表したことによる景気減速懸念などから下落して始まりました。翌29日は原油価格の下落や円安ドル高の進行などが好感されて反発したものの、その後は、①それまで相場を支えていた権利取り狙いの買い需要が剥落したこと、②31日に発表された中国製造業/非製造業PMIの低下を受けて中国の景気減速に対する警戒感が広がったこと、③31日の米国株市場がウクライナ問題の長期化や米金融引き締めへの警戒感の再燃を背景に大幅下落したこと、④1日に発表された日銀短観の大企業製造業景況感が悪化したことなどから下落しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
4月4日	Mon	米国	製造業受注(前月比)	2月	+1.4%
4月5日	Tue	米国	貿易収支	2月	▲897億ドル
			ISM非製造業景況指数	3月	56.5
4月6日	Wed	中国	財新サービス業PMI(購買担当者景況指数)	3月	50.2
		ドイツ	製造業受注(前月比)	2月	+1.8%
		米国	FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨公表	3月15・16日開催分	—
4月7日	Thu	日本	景気一致指数	2月	95.6
		日本	景気先行CI指数	2月	102.5
		欧州	ユーロ圏小売売上高(前月比)	2月	+0.2%
4月8日	Fri	ドイツ	鉱工業生産(前月比)	2月	+2.7%
		日本	景気ウォッチャー調査現状	3月	37.7
		日本	景気ウォッチャー調査先行き	3月	44.4

決算発表予定 他 国内 決算発表 : 4/7 ウェルシア、7&iHD 4/8 安川電

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 企業業績懸念や米金融引き締めへの警戒感を背景に、弱含みで推移 ～

今週の日本株市場は、企業業績懸念や米金融引き締めへの警戒感を背景に、弱含みでの推移を予想します。先週末(4/1)に発表された日銀短観(3月)は、大企業製造業・非製造業ともに前回(12月)調査から現状の景況感が悪化し、先行きも2期連続での悪化を見込む慎重なものとなりました。また、米ISM製造業景況指数や中国製造業/非製造業PMIがいずれも前月から悪化しており、これらはウクライナ危機やそれに伴う原油価格の高騰、中国においては一部都市でのロックダウンなど複数の要因が想定され、今週5日の米ISM非製造業景況指数の内容次第では、景気や企業業績への懸念が高まる可能性があると考えています。また、6日に公表される3月のFOMC議事要旨でバランスシートの縮小を巡る議論の詳細が示されるとみっていますが、保有資産の売却に関する議論など現状市場が想定する以上のタカ派的な内容となれば米金融引き締めへの懸念が再燃する可能性があると考えており、弱含みで推移すると予想します。その他の注目材料として、日本では7日の景気先行CI指数、8日の景気ウォッチャー調査、米国では5日の貿易収支、欧州では7日のユーロ圏小売売上高、ドイツでは6日の製造業受注、7日の鉱工業生産、中国では6日の財新サービス業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

URL: <http://www.alamco.co.jp>

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。